

令和4年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)

(分担)研究報告書

企業等で雇用されている間における就労継続支援等の適正な実施プロセスについての研究

(22GC1018)

就労系障害福祉サービスの多様な利用ニーズへの  
栃木県・埼玉県の相談支援従事者の認識に関する調査

研究分担者 野崎智仁 国際医療福祉大学・保健医療学部・作業療法学科

**【研究要旨】**

本調査は、就労系障害福祉サービス事業への多様なニーズを把握するため、栃木県、埼玉県にて相談支援専門員として従事する支援者にヒアリング調査を実施した。相談支援専門員を対象とした理由としては、従事する地域において様々な支援関係機関との連携実績があり、障害種が限定されずに、多様な障害のある対象者からニーズを把握しやすい立場にあることから選定した。結果としては、症状や生活状況の変化に合わせた併用へのニーズ、雇用率達成には到達していないものの雇用契約締結時から労働時間の拡大へのニーズ、加齢や対象者のモチベーション低下に伴うフェードアウトへのニーズがあることがわかった。

本研究において、就労系障害福祉サービスの多様な利用を目指す必要があり、これにより労働市場に参画できなかった障害がある対象者が社会参加をするきっかけとなり、支援効果を高めることや自己実現を促進することが可能であることが明らかとなった。

**A.研究目的**

近年、障害者の一般就労件数は増加傾向にある。厚生労働省(2022)は令和4年における障害者雇用状況の集計結果において、民間企業では61万3,958.0人、対前年度差1万6,172.0人増加であったと報告しているように、年々、増加の一途を辿っている。この背景には、障害者雇用促進法において法定雇用率が上昇して現在では2.3%となったことも関係しているが、保健、医療、福祉の発展により障害者自身が社会参画しやすくなったことも影響している。公共職業安定所への障害者の新規求職者数も増え続けていることから、就労を希望する障害者が増加していることが、雇用者数増加の背景として考えられる。

就労を希望する障害者の増加とともに、就労の仕方についても多様なニーズが生まれている。石原らは(2023)、就労継続を妨げる要因として、職場における障害特性への理解の不足や、環境変化により生活面での必要な支援が得られなくなることなどを報告した。植田(2010)は、高齢化する知的障害者への支援について、健康保持と日常的生活アセスメントの重要性や環境要因についての検討の必要性、高齢化する家族に対応した支援のあり方が重要であると報告した。このように、就労系障害福祉サービスについても、そのニーズに応えるべく対応が求められている。

本研究では、栃木県、埼玉県で相談支援専門員として従事する支援者にヒアリング調

査をし、支援を振り返りながら、昨今の対象者が就労系障害福祉サービスにどのようなニーズがあるのか明らかにすることを目的とした。

## B.研究方法

### 1. 対象者

- ① 木村友一氏（所属：NPO 法人那須フロンティア地域生活支援センターゆずり葉・栃木県那須塩原市）
- ② 新井利昌氏（所属：埼玉復興株式会社・埼玉県熊谷市）

### 2. 調査時期

- ① 2023年3月3日
- ② 2023年3月7日

### 3. 調査内容

研究対象者の従事する地域における就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型の利用ニーズ、あるいは支援を導入し始める時期における就労支援へのニーズなどについてヒアリング調査を行った。

## C.研究結果

### 1) 支援事業所の概要

- ① NPO 法人那須フロンティア

代表：荻原喜茂

事業：指定一般相談支援事業，指定特定相談支援事業，基本相談支援，地域活動支援センター事業 I 型，就労移行支援事業，職場適応援助者支援事業 他（図 1）

- ② 埼玉復興株式会社

代表：新井利昌

事業：指定特定相談支援事業，グループホーム，就労継続支援 B 型事業，自立訓練 他（図 2）



図 1 NPO 法人那須フロンティアの cafe



図 2 埼玉復興株式会社のハウス農場

2) ヒアリング結果

結果については、表 1 に示す。

| コアカテゴリー                                | サブカテゴリー  |
|--|--|
| 症状や生活状況の変化に合わせた併用へのニーズ                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者は、体調の波がある。</li> <li>一見、改善したように見えても、周囲の関わり方によっては変調することもある。</li> <li>職場内の職員異動などにより関わる方が変われば対象者に与える影響も変わる。動揺につながる。</li> <li>内科系疾患の合併では、状態悪化もあるため状態のモニタリングは重要。</li> <li>ライフステージが変化すると、家族が死去したり、健康上の課題を抱えることにより、対象者にも影響が生じる。</li> </ul> |
| 雇用率達成には到達していないものの雇用契約締結時から労働時間の拡大へのニーズ | <ul style="list-style-type: none"> <li>週 20 時間以上の労働時間の壁があり、短時間労働を求めている対象者がいる。</li> <li>超短時間労働から段階的に労働時間を増やすた</li> </ul>  |

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
|                                 | <p>めのサービスが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を大きくは変えたくはなく、一方で無理しないで働きたいと望む対象者。</li> <li>訓練場面では、一般就労が困難だと判断されてしまう対象者でも、労働場面に出れば働ける可能性もある。</li> <li>企業も人手不足があり、雇用率達成とは異なるニーズがある。</li> </ul>        |
| 加齢や対象者のモチベーション低下に伴うフェードアウトへのニーズ | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者が就労して 10 年、20 年と経過すると、以前のように働けなくなっている。</li> <li>就職した当初は、とにかくその職場に適応するために奮闘していた対象者が、職場定着していくと働き方などを考えることがある。</li> <li>一般就労することが目的であったのが、生活全体の質を求めるように変化する。</li> </ul> |

## D.考察

### 1. 就労系障害福祉サービスの併用時期

ヒアリング結果から、就職するタイミングと長期に就労を続けていった後に、就労系障害福祉サービスの併用を求めることが明らかとなった。併用によって一般就労に移行しやすくなることにより、これまで以上に一般就労に結びつく対象者は増加することが予想される。

この見極めは、就労系障害福祉サービスにおけるアセスメントが重要になることが考えられる。野中（2008）は、assessment について「見立て」と訳し、読み違えるとその後の支援はほとんど成功しない、と説明している。予後予測を誤るとタイミングを間違えたり、失ったりしてしまう。この専門性をいかに獲得していくかが支援者には求められる。

### 2. 福祉と労働を行き来できる体制整備

就労を続けていく中で、病気を発症したり、不調になることは、障害の有無に限らず、どの人間にも起こりうるものである。障害者に置き換えると、体調を改善させる期間の対応、また就労先との調整など、自身の奮闘努力だけでは解決できず、支援として他者に援助を求めることが必要となる。この点も、復職や休職のタイミングを誤ると、職を失うことにも繋がってしまうため、支援者の専門的知識、技術が求められる。

## E.結論

就労系障害福祉サービスに対して、症状や生活状況の変化に合わせた併用へのニーズ、雇用率達成には到達していないものの雇用契約締結時から労働時間の拡大へのニ

ーズ、加齢や対象者のモチベーション低下に伴うフェードアウトへのニーズがあることが明らかとなった。

## F.健康危険情報

なし

## G.研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## H.知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

該当なし

### 2. 実用新案登録

該当なし

### 3. その他

該当なし

## 引用参考文献

厚生労働省（2022）令和4年障害者雇用状況の集計結果 ,[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_29299.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29299.html),<2023年4月20日>

石原まほろ・武澤友広・井口修一ら（2023）障害者の就労継続を妨げる要因とアセスメントに関する研究,職業リハビリテーション,36（2）,2-10.

植田章（2010）知的障害のある人の加齢と地域生活支援の実践的課題,佛教大学社会福祉学部論集,6,19-31.

野中猛（2008）第1節ケースマネジメントの方法,松為信雄（編）,職業リハビリテーション学,250-251,協同医書出版社.